

農林漁商工業5団体の連携が必要な背景と内容

2023年3月

株式会社農林中金総合研究所

基礎研究部 主任研究員 尾中謙治

内容

1. 連携が必要な背景
2. 連携の内容と効果

■ 農林漁業者・商工業者の共存共栄 = 豊かな暮らしやすい地域社会の実現

- ▶ 地域事業者が持続的に発展していくためには、地域固有の生産要素（＝「地域資源◆」）を活用した地域経済の活性化に向けた取組や、地域の需要を支える地域住民が生き生きと暮らしていくための取組等、地域活性化への多様な取組が求められている（資料：中小企業庁編（2015）『2015年版中小企業白書』）
 - ◆「地域資源」とは農林水産物や鉱工業品、観光資源だけでなく、地域にある自然資源、人的資源、歴史など、地域に存在するありとあらゆる資源のこと
- ▶ 特に「地域資源の活用等により立地地域外でも活動する企業（地域資源型）」や「地域の生活・コミュニティを下支えする企業（地域コミュニティ型・生活インフラ関連型）」は、持続的成長・発展を通じた地域経済や雇用の維持が重要（資料：中小企業庁編（2021）『2021年版中小企業白書』）
 - ✓ 2020年版中小企業白書において、中小企業・小規模事業者に期待される役割・機能を、「グローバル展開をする企業（グローバル型）」、「サプライチェーンでの中核的ポジションを確保する企業（サプライチェーン型）」、「地域資源型」、「地域コミュニティ型」の4つに分類
- ▶ 地域経済の活性化を図るためには、地域事業者が地域の強みであり差別化の武器ともなる地域資源（特に「農林水産物」「観光資源」）を活用することが重要であり、地域の多様な事業者による持続的かつ機能的な連携による面的な取組が必要である。それによって地域事業者の商品などの付加価値向上も促される。

■地域の持続的な成長に向けた連携

- ▶ 地域課題◆の解決に向けて、約6割の小規模事業者が地域課題解決に取り組んでおり、約2割強が取り組めていないが意思はある（資料：中小企業庁編（2022）『2022年版小規模企業白書』。以下同様）
 - ▶ 地域課題を「まちづくり」「産業振興」「安心・安全」「環境保護」「福祉・教育」に分類
 - 「まちづくり」：商業機能の低下、交通サービスの拡充、地域の祭り・伝統行事・イベントの開催、空き家・耕作放棄地対策
 - 「産業振興」：地場産業の振興、地域資源の活用、労働者不足・後継者不足への対応、雇用創出（地元採用・UIターン受入れ）
 - 「安全・安心」：防災対策、防犯対策、交通安全
 - 「環境保護」：自然環境の保全、街の景観保全、廃棄物処理、エネルギー対策
 - 「福祉・教育」：高齢者支援、障がい者支援、子育て支援、教育支援、リカレント教育、医療・介護サービス支援
- ▶ 取組を始めた理由（複数回答）は、約65%が「地域の持続的な発展に貢献するため」、約20%が「地域の問題が事業の存続を脅かす可能性があるため」
- ▶ 地域課題に取り組む小規模事業者のうち地域内の事業者や団体等と連携（共同での商品・サービス開発、販路開拓等）しているのは46.9%、連携を検討しているのは17.0%
- ▶ 連携の一番のメリット（単一回答）は、「地域を巻き込んだ大きな取組への発展」（37.4%）
- ▶ 地域内で連携している連携先として最も多いのは、「商工会議所、商工会」（約8割）

1. 連携が必要な背景

■ 農林漁業者・商工業者の連携が必要な産業振興（地域資源および地域のブランド化）

➤ 「はたはた」と言えば…

➤ 都道府県別の漁獲量（農林水産省「令和3年漁業・養殖業生産統計」）

	1位 兵庫県	2位 鳥取県	3位 秋田県	全国
漁獲量 (t)	15	14	3	41
全国に占める割合 (%)	37	34	7	100

➤ グルメサイト（食べログ）での「はたはた」「ハタハタ」検索結果（2022年12月29日）

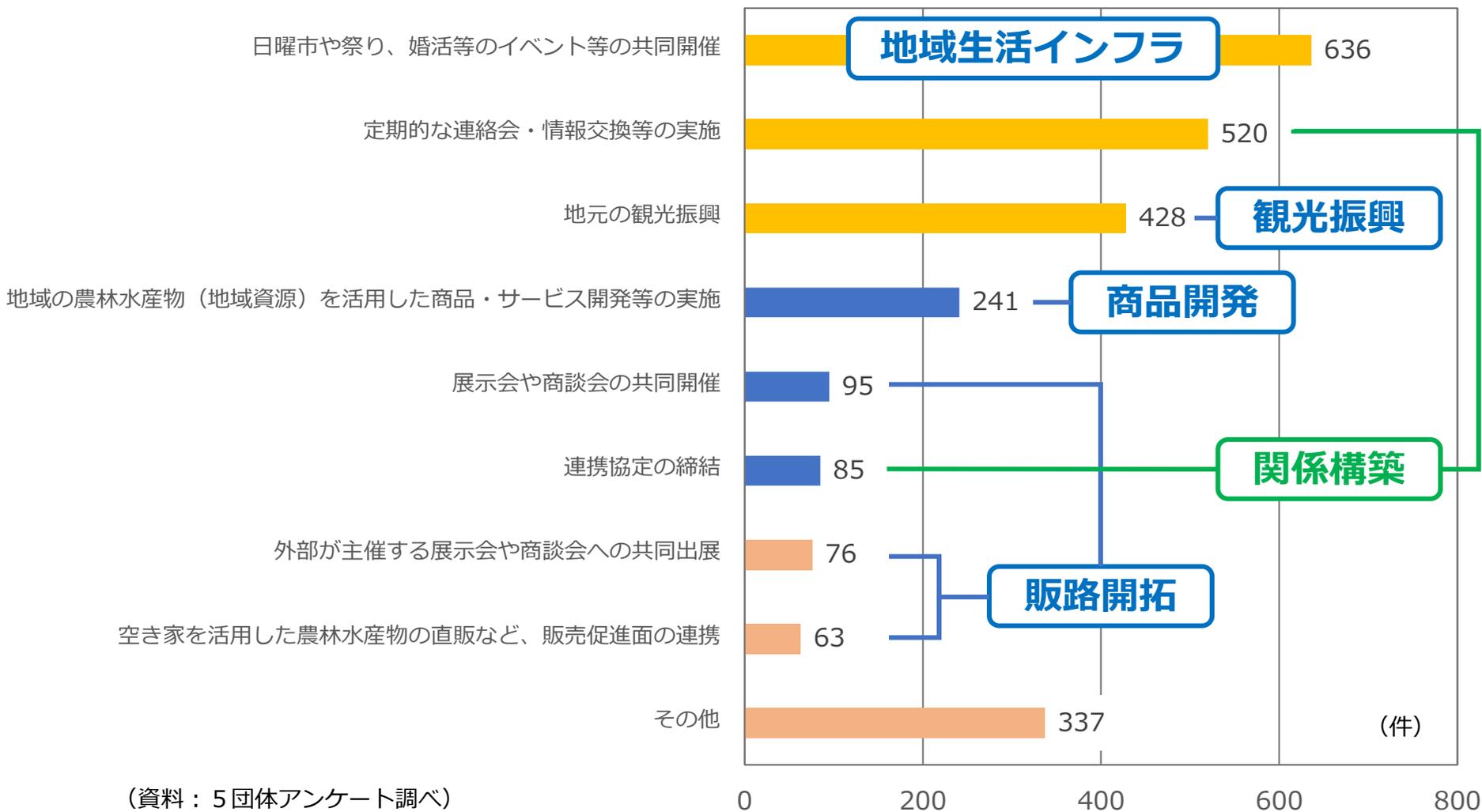
	兵庫県	鳥取県	秋田県
件数 (店舗)	255	172	493
県内登録店舗に占める割合 (%)	0.7	4.7	8.4

➤ 「食」のブランドづくりには、食と出会える場所の多さが重要 ← **地域事業者間の連携が必要**
「食」のブランドは地域ブランドにつながる ⇔ 地域ブランドは地域資源のブランド化に貢献

（岩崎邦彦（2019）『地域引力を生み出す 観光ブランドの教科書』日本経済新聞社を参考にして作成）

2. 連携の内容と効果

■ 5団体の相互間の連携実態にかかる調査結果（2020年度調査）



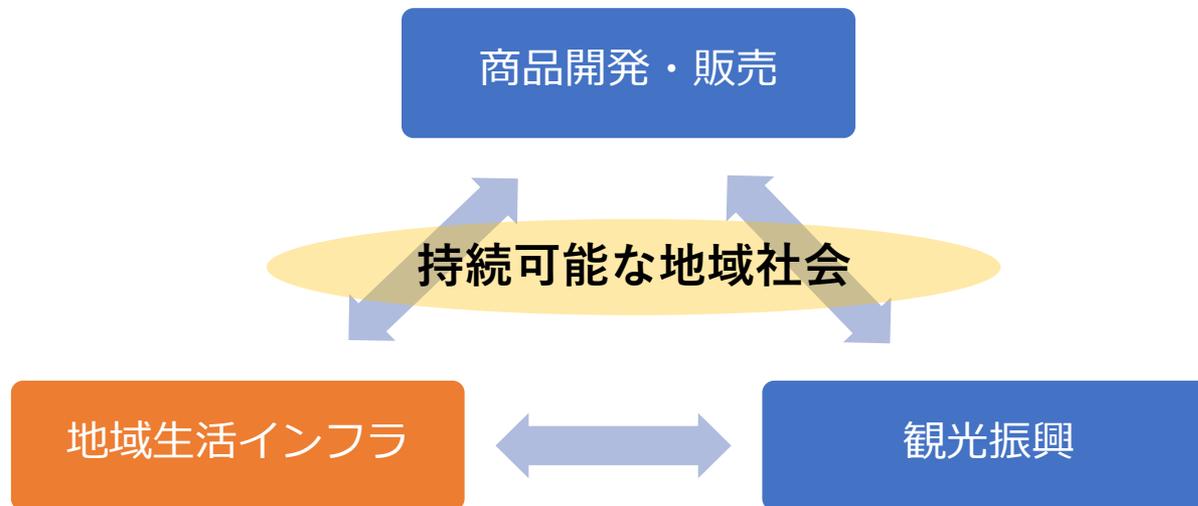
2. 連携の内容と効果

■ 「地域生活インフラ」に関連する団体間連携にも期待

➤ 団体間連携の事例として、祭り・イベント以外の「地域生活インフラ◆」（買い物弱者や交通弱者への支援など）に対する取組みは少ない。

⇒ 豊かな暮らしやすい地域社会の実現にあたっては必要

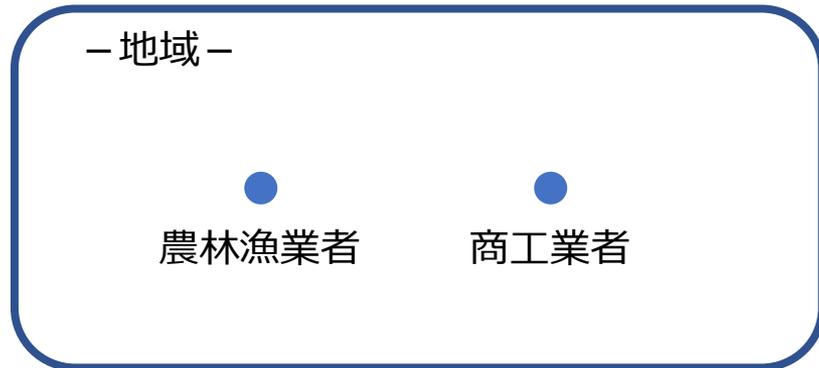
◆ 地域生活インフラとは、地域で安全・安心・快適な生活を送る上で欠かせない基盤となる、衣食住や交通・医療・金融等のサービスの総称 [経済産業省(2010)「地域生活インフラを支える流通のあり方研究会～地域社会とともに生きる流通～報告書概要」]



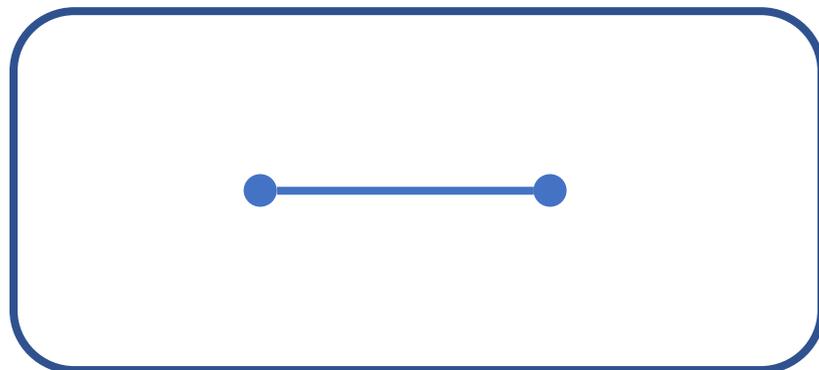
2. 連携の内容と効果

■ 商品開発・販路開拓・観光振興

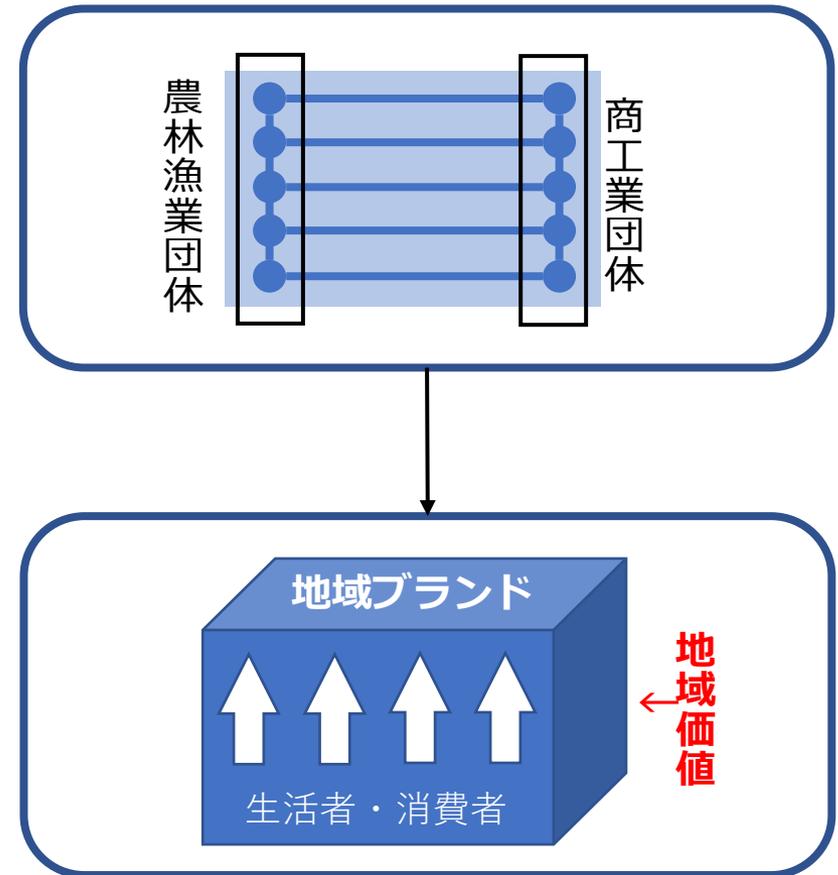
【事業者ごとの活動】



【農商工連携・1事業者同士の連携】

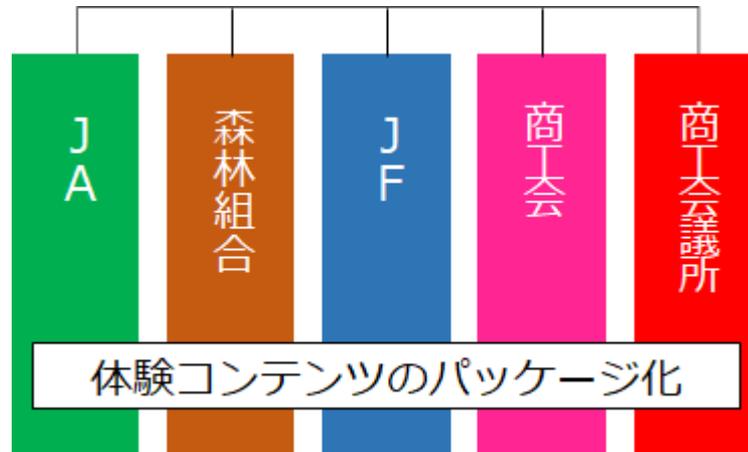


【団体間連携】



■ 観光振興にあたっての団体間連携

- ▶ 観光分野においては、単なる「モノ消費」から、関係人口の拡大を狙った「コト消費」や「体験型コンテンツ」の開発を進める動きが活発化
 - 魅力ある体験型コンテンツは、地域のPRになるだけでなく、地域の賑わいや地域住民の地域への誇り・愛着の醸成をもたらすとともに、ファンづくり、移住・定住等につながっていく
 - 各団体およびその組合員・会員が提供できる体験型コンテンツを組み合わせ、地域一体となって取組を進めていくことが効果的



2. 連携の内容と効果

■ 各団体の体験型コンテンツ例（実施しているか・実施可能かどうかは個々の団体に確認が必要）

J
A

- ・農業体験（田植え、稲刈り、収穫体験、酒造り体験、耕作放棄地の再生体験等）
- ・食農教育（収穫体験、生き物調査等）・援農（収穫作業等）・農家民泊（農家宅に宿泊）
- ・JA施設の体験（選果場のバックヤード体験、直売所での農畜産物販売体験等）
- ・JAファーマーズマーケット（直売所）の見学・農家レストラン（農畜産物の提供等）
- ・農業塾（農業・農作業に関する講義・実習）・料理教室・オンラインによる農業体験、料理教室など

森
林
組
合

- ・林業現場見学（植栽→下刈り→除伐→間伐→主伐、森林作業道開設、搬出・運搬、高性能林業機械）
- ・植樹体験・枝打ち・伐倒体験、木材共販所や加工場見学、木工体験、チェーンソーアート
- ・きのこ体験（植菌・収穫）・森林環境教育・木育、林業体験教室
- ・林内散策、森林浴、自然観察、トレイルラン、ツリークライミング
- ・日本伐木チャンピオンシップ（JLC）見学

J
F

- ・漁業体験（定置網漁体験、刺し網漁体験、延縄漁体験、イワシ網漁体験、イカ釣漁体験、タコ籠漁体験、サザエ網漁体験、ホタテ養殖体験、ウニ獲り体験、ワカメ刈り体験、養殖生簀への餌やり体験、海女の仕事体験 他）
- ・漁業見学（観光船等による定置網漁見学、漁船乗船体験 他）
- ・市場・加工場見学（水揚げ見学、競り見学、加工施設見学 他）
- ・低次・高次加工等の体験（魚捌き体験、ウニ剥き体験、イカ加工体験 他）
- ・クラフト体験（貝殻を使った小物づくり体験、貝紫染めの体験 他）
- ・マリンスポーツ関係（ダイビング、シュノーケリング、シーカヤック、洞窟探検ツアー 他）
- ・クルーズ関係（ホエールウォッチングクルーズ、バードウォッチングクルーズ、さっぱ船クルーズ 他）
- ・飲食関係（漁業体験で獲れた魚介類を使った海鮮バーベキュー、漁師・海女飯体験、養殖筏上での飲食、カキ小屋 他）
- ・漁業学習関係（漁業者・JF職員等のガイドによる漁村の路地裏散策・湾岸線沿いのサイクリング、1日漁村留学体験、磯観察 他）

■ 各団体の体験型コンテンツ例（実施しているか・実施可能かどうかは個々の団体に確認が必要）

- ・工場見学（産業観光）
- ・モニターツアー
- ・ものづくり体験（加工食品、工芸品など）
- ・シティーマラソン・トレイルラン
- ・ガイドツアー（地域巡りや観光地案内含む）
- ・イベント・祭り・マルシェ等の開催
- ・オンラインイベントの開催
（各種セミナーやオンラインでの体験教室、マルシェ等）
- ・謎解きイベント
- ・オリエンテーリング
- ・夜景観光（工場夜景など）
- ・ウォークラリー
- ・職業体験（企業見学）
- ・座禅体験
- ・酒造見学・試飲体験
- ・屋外サウナ（イベント）
- ・滝行・禊ぎ（精神統一修行体験）
- ・お茶席体験
- ・文化財観光施設（城や山荘など）を活用した歴史体験
- ・スタンプラリー等の地域内での販売促進イベント
- ・乗馬体験
- ・シーカヤックやカヌー等への搭乗体験
- ・レンタサイクルツアーの提供
- ・移住体験（民泊含む）
- ・アンテナショップのバックヤード見学
- ・体験型観光の提供
- ・収穫体験（農業関係、漁業関係）
- ・民泊・食育体験
- ・職業体験（子供向け）
- ・起業（ビジネス）体験
- ・モノづくり体験
（工業関係、建設関係、飲食関係）
- ・各種アクティビティ
- ・森林セラピー・キャンプ（アウトドア）
- ・トレッキング・マリンスポーツ
- ・干物づくり・漁船周遊
- ・魚裁き・カヤック
- ・川遊び・魚釣り、つかみ取り
- ・生き物観察
- ・茶道、礼儀作法
- ・昔の暮らし体験
- ・牧場体験
- ・乗車体験（鉄道）
- ・絵付け体験
- ・クラフト工作
- ・染め体験
- ・IoT機器体験
（YR、ドローン、3Dプリンター等）

2. 連携の内容と効果

■ 連携の効果は多様で地域に波及

▶ 短期的効果だけでなく、長期的効果も意識する必要がある。

